



天龍製鋸株式会社



平成18年3月期 中間決算説明資料

平成17年11月22日

お問い合わせ：☎ 0538-23-6111

E-mail : info @ tenryu-saw.com

企業集団の状況

1

当社の企業集団は、当社と連結子会社3社と非連結子会社1社で構成されており、鋸・刃物類の製造、加工及び販売を主な事業内容としております。事業に係わる位置づけは次のとおりであります。

生産体制

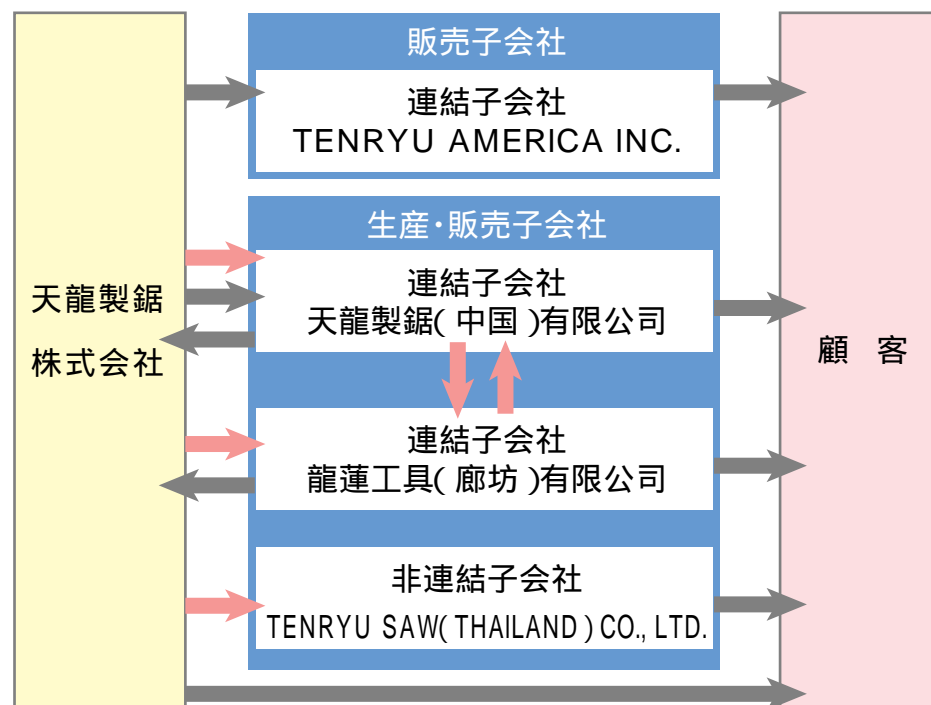
国内においては、当社が生産し、海外においては、天龍製鋸(中国)有限公司、龍蓮工具(廊坊)有限公司及びTENRYU SAW(THAILAND) CO., LTD.が生産しております。

販売体制

当社では、国内及び海外に販売しております。TENRYU AMERICA INC.では、米国市場を中心に販売しております。天龍製鋸(中国)有限公司では、中国市場を中心に販売しております。龍蓮工具(廊坊)有限公司では、中国市場を中心に販売しております。TENRYU SAW(THAILAND) CO., LTD.では、タイ国内に販売しております。

事業系統図

製品等の動き → 材料等の動き →



業績の概要

2

《連結》

・ 売上高：
4,118 百万円

・ 経常利益：
657 百万円

・ 当期純利益：
466 百万円

■ 経済の動向

当中間期のわが国経済は、企業収益の回復に伴う設備投資が継続しました。個人消費も堅調に推移し、おおむね「踊り場」を脱却した景況でありましたが、販売価格の下落が続き、回復しきれない業界もありました。

■ 業界の動向

当社が属する日本機械鋸刃物工業会におきましては、全体で前年同期比104%の生産額でありました。木工業界用鋸刃物の成長鈍化に対し、大型基幹産業用鋸刃物の成長が鮮明になってまいりました。

■ 営業の動向

このような情勢の中で当社グループは、国内の大型基幹産業の好調な景況による受注に恵まれ売上は好調でしたが、競争の激化から利益率の低下があり前年同期比で減益となりました。

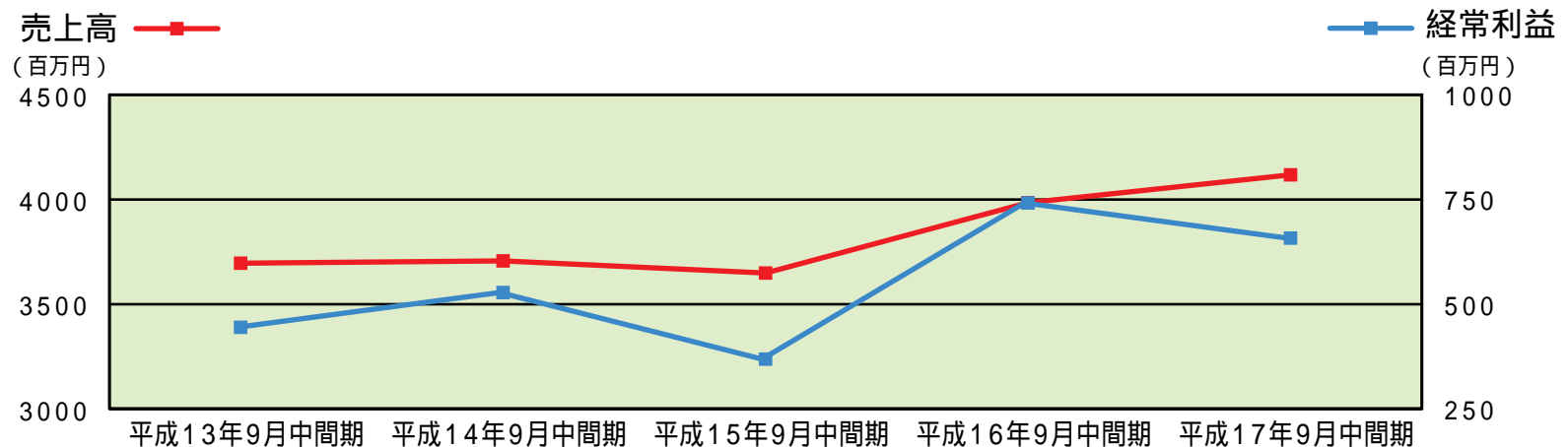
この結果、当中間連結会計期間の売上高は4,118百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は541百万円（前年同期比3.6%減）、経常利益は657百万円（前年同期比11.4%減）、中間純利益は466百万円（前年同期比3.2%減）の増収減益となりました。

連結決算の概要

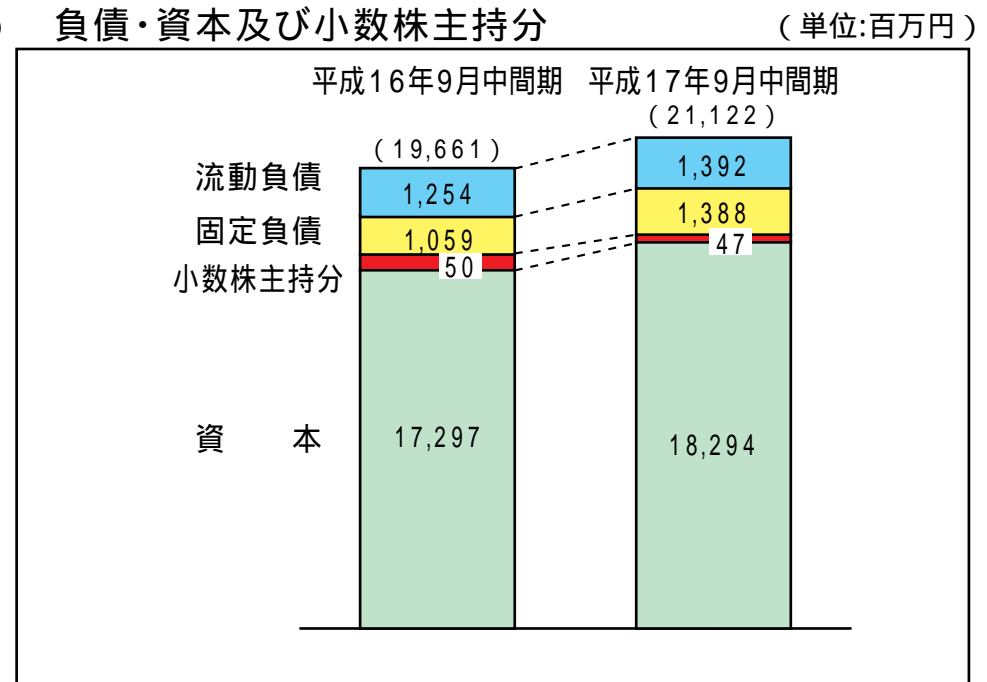
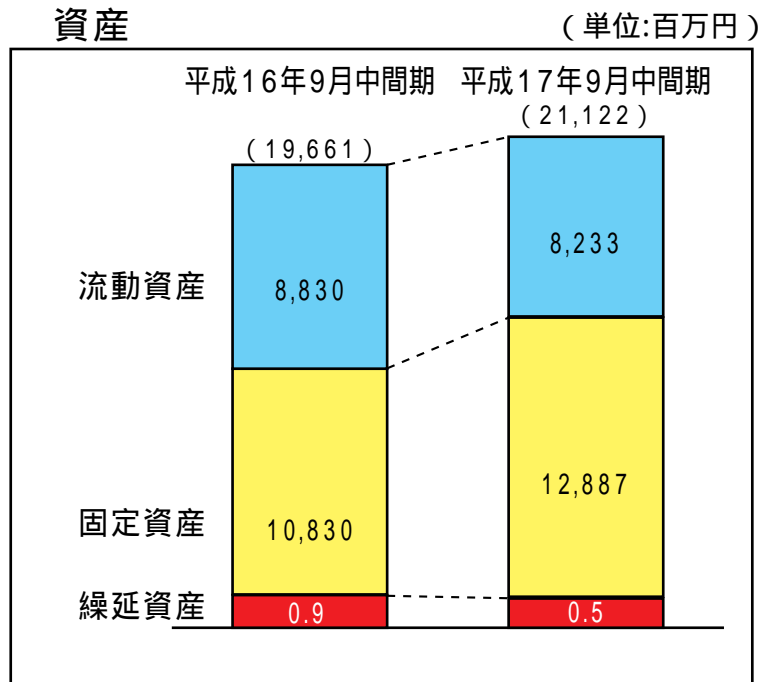
(単位:百万円)

	平成13年 9月中間期	平成14年 9月中間期	平成15年 9月中間期	平成16年 9月中間期	平成17年 9月中間期	増減額 (増減率)	平成16年 通期
売上高	3,696	3,707	3,649	3,985	4,118	133 (3.3%)	8,120
営業利益	469	566	498	561	541	19 (3.6%)	1,121
経常利益	444	527	368	741	657	84 (11.4%)	1,326
当期純利益	288	304	312	482	466	15 (3.2%)	859

連結ハイライト 数値推移



中間連結貸借対照表



■ 資産増減 : 1460百万円

増減内訳

流動資産 : 596百万円

現金・預金 : 970
有価証券 : 118
受取手形・売掛金 : 115
たな卸資産 : 251

固定資産 : 2,057百万円

投資有価証券 : 1,711
有形固定資産 : 366

■ 負債・資本増減 : 1460百万円

増減内訳

流動負債 : 137百万円

短期借入金 : 200
支払手形・買掛金 : 29
未払法人税等 : 22

固定負債 : 329百万円

繰延税金負債 : 299
役員退職給与引当金 : 36

資本 : 997百万円

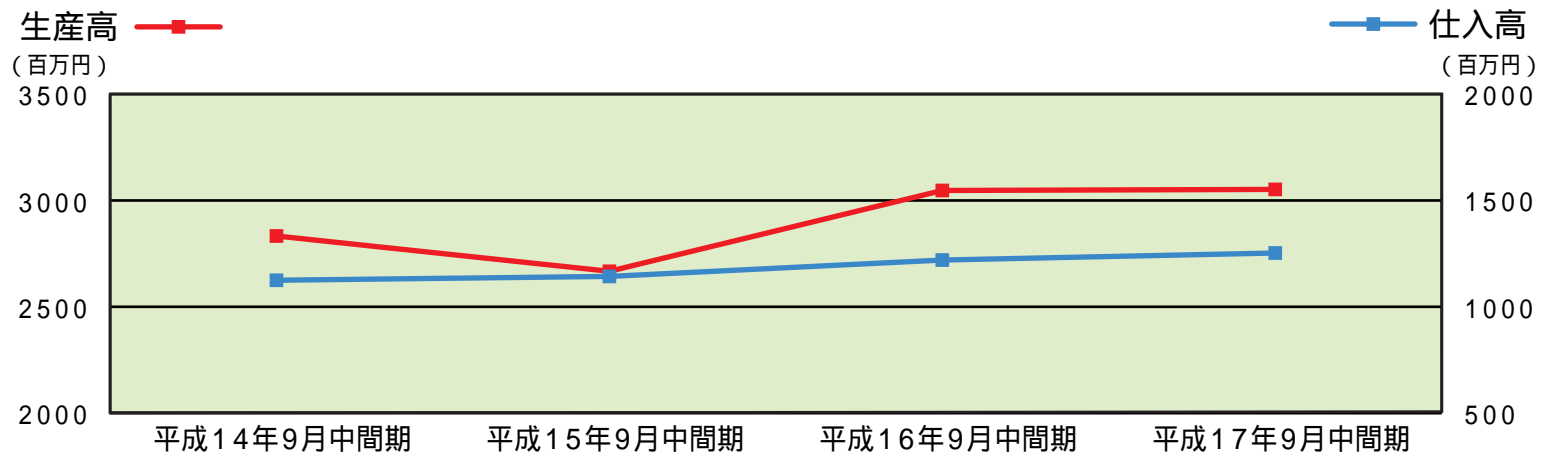
利益剰余金 : 488
その他有価証券評価差額金 : 493

生産・仕入状況

(単位:百万円)

種 類	生産高					仕入高				
	平成14年 9月中間期	平成15年 9月中間期	平成16年 9月中間期	平成17年 9月中間期	増減率	平成14年 9月中間期	平成15年 9月中間期	平成16年 9月中間期	平成17年 9月中間期	増減率
電動工具用チップソー・刃物	1,665	1,503	1,837	1,602	12.8%	456	432	424	348	17.9%
製材、木工 その他産業用チップソー・刃物	1,067	1,093	1,138	1,383	21.5%	166	357	396	463	16.8%
製材、木工 その他産業用機械・刃物	100	71	71	66	7.0%	500	351	397	440	10.9%
合 計	2,833	2,667	3,047	3,052	0.2%	1,123	1,141	1,218	1,251	2.8%

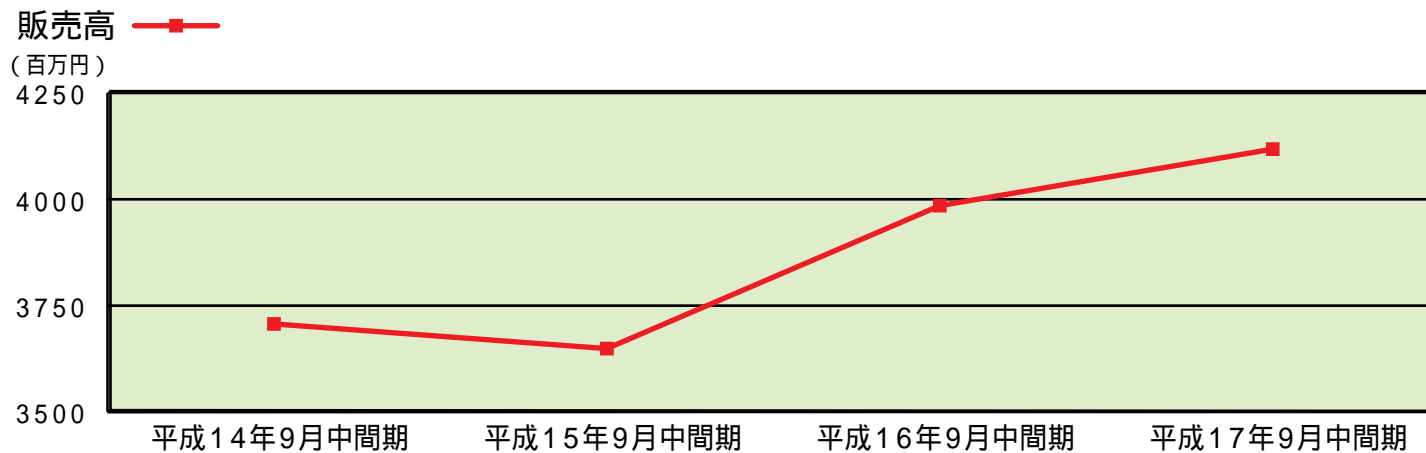
上記金額は、平均销售价格によっております。
上記金額には、消費税等は含まれておりません。



販売実績

(単位:百万円)

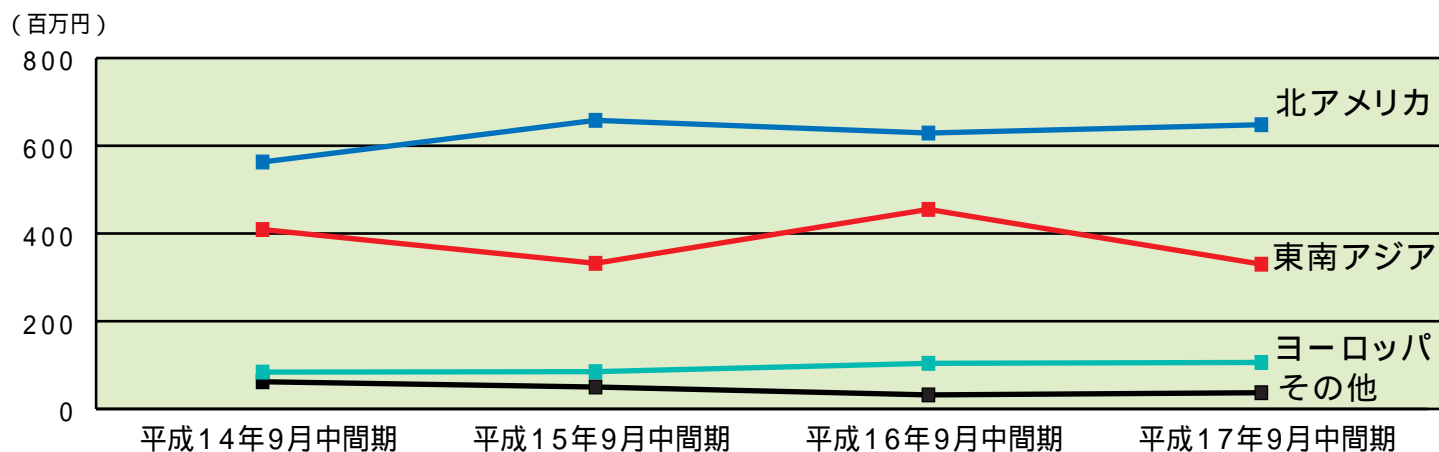
種 類	販 売 高				
	平成14年 9月中間期	平成15年 9月中間期	平成16年 9月中間期	平成17年 9月中間期	増減率
電動工具用チップソー・刃物	2,089	1,961	1,909	1,742	8.8%
製材、木工 その他産業用チップソー・刃物	980	1,171	1,484	1,725	16.2%
製材、木工 その他産業用機械・刃物	614	486	559	613	9.8%
そ の 他	22	29	31	36	16.8%
合 計	3,707	3,649	3,985	4,118	3.3%



海外売上高

(単位:百万円)

	平成14年9月中間期	平成15年9月中間期	平成16年9月中間期	平成17年9月中間期
東南アジア	409	332	455	330
北アメリカ	563	658	629	648
ヨーロッパ	84	85	104	106
その他	62	50	32	37
合計	1,119	1,128	1,221	1,122

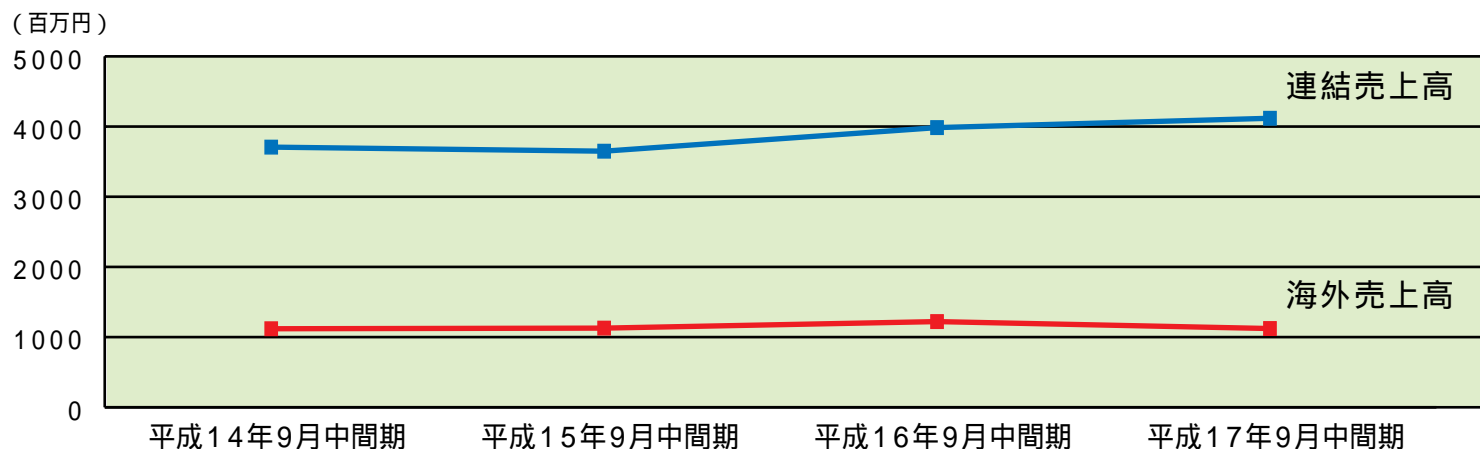


海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

海外売上高と連結売上高合計

(単位:百万円)

	平成14年9月中間期	平成15年9月中間期	平成16年9月中間期	平成17年9月中間期
海外売上高	1,119	1,128	1,221	1,122
連結売上高	3,707	3,649	3,985	4,118
連結売上高に 占める 海外売上高	30.2%	30.9%	30.6%	27.3%



海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

通期の見通し(連結)

9

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成18年3月期		
	実績	見通し	増減	増減率(%)
売上高	8,120	8,300	180	2.2
経常利益	1,326	1,350	24	1.8
当期純利益	859	860	1	0.1

通期の見通し

原油価格の高騰や原材料の値上げなどによる利益率の低下や、アメリカの景気の先行き不透明感など、予断を許さない状況が続くものと思われます。

当社を取り巻く産業分野では、住宅関連産業の景況の鈍化がみられるものの、鉄鋼を中心とした基幹産業の設備投資は堅調に推移するものと判断しております。

通期の業績見通しは期初発表のとおり、売上高8,300百万円、経常利益1,350百万円、当期純利益860百万円と変更はありません。

本資料についてのご注意

本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。